

令和5年度 登別市環境講演会

脱炭素社会を目指すために私たちができることを開催します

世界でカーボンニュートラルの実現に向けた脱炭素化の取組が加速している中、市は、令和4（2022）年2月に、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする『ゼロカーボンシティ』への挑戦を表明しました。脱炭素化社会を実現する必要性や、私たち一人一人ができる取組、それをどのように実践していくかを多くの皆さんに知ってもらうため、講演会を開催します。

また、講演会と併せて市が7月から実施する市民向けの脱炭素に関連した補助制度の説明を行います。

日時 7月9日(日)10時から
場所 観光交流センターヌプル
2階多目的室
定員 100人

申し込み
6月30日(金)までに電子申請フォーム
または電話で環境対策グループ
(☎⁰¹¹2958)



講演会タイムテーブル

- 10時 ~ 開会・主催者挨拶
10時10分~ 講演『(仮)脱炭素社会の実現に向けて』
講師：菅井 貴子さん
フリーキャスター／気象予報士
11時 ~ 講演『(仮)北海道内の住宅向け脱炭素化の取組について』
講師：北海道建設部住宅局
11時30分~ 説明『登別市の補助制度について』
11時50分~ 閉会



市が7月から実施する脱炭素に関連した補助制度 (市民向け)

● Z E H 普及促進補助金

Z E H (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) の基準を満たす市内に所在する新築戸建住宅の建築主または新築戸建建売住宅の購入予定者となる市民に対して補助金を交付します。

補助金額：上限55万円／戸

※市内事業者へ発注する場合は定額100万円／戸。

● 既存住宅断熱改修促進補助金

市内に所在する既存住宅の断熱改修 (窓及び玄関ドア) を行う市民に対して補助金を交付します。

補助金額：補助対象経費の1/3以内で、上限額120万円／戸

※市内事業者へ発注する場合は、補助対象経費の10% (上限額20万円) を上乗せ。

※既存住宅のすべての窓を改修することが要件。

※玄関ドアは窓の改修と同時に改修する場合のみ対象。

● 高効率給湯機器等導入促進補助金

市内に所在する既存住宅において、灯油を使用した給湯器からエコキュート、エコジョーズ+コレモ、エネファームに更新を行う市民に対して補助金を交付します。

補助金額：補助対象経費の1/2以内で、エコキュートの場合、上限額30万円／戸

エコジョーズ+コレモ、エネファームの場合、上限額50万円／戸

※市内事業者へ発注する場合、上限額はそれぞれ40万円／戸、60万円／戸。

※従来の給湯器から二酸化炭素の削減効果が30%以上の場合のみ対象。

※いずれの補助金も申請者自身が居住し、かつ所有する住宅が対象となります。

※補助制度の詳細は広報のぼりべつ7月号または市公式ウェブサイトにて公開予定です。

また、講演会や制度の内容は、変更となる場合があります。